

ハンドマイク街頭演説原稿例

国葬反対・統一協会問題

二〇二二年九月一日 日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

岸田内閣は安倍晋三元首相の「国葬」を行うことを閣議決定しましたが、安倍氏に対する無法な暴力に怒り、その死を悼む気持ちと、安倍氏の「国葬」を行うことは、別問題です。日本共産党は、安倍氏への弔意を国民に押し付けるような「国葬」に反対し、中止を強く求めます。

みなさん、安倍元首相は、歴代政府の憲法解釈をひっくり返し、集団的自衛権の行使を認める閣議決定をし、安民法制を強行するなど「戦争する国」づくりを進めてきました。格差と貧困を拡大するアベノミクスを進め、現在の物価高騰の原因をつくりました。さらには「森友」「加計」「桜を見る会」などの数々の疑惑もなかったことにするわけにはいきません。安倍氏の政治は、そっくり岸田政権に引き継がれており、「国葬」は、評価の分かれる安倍政権を礼賛し、批判を封じ込めるものになる危険があります。

みなさん、「国葬」となればその費用は国がすべて負担します。それが国会にも諮（はか）らず、閣議決定のみで強行されようとしています。財政民主主義を無視し、法による支配を人による支配を人による支配に逆転させるものです。コロナ禍のもとでの多額の費用負担にも多くの批判の声があがりましたが、世論調査を見ても、安倍氏「国葬」への賛否は大きく割れています。そもそも、現在の日本には「国葬」についての法令がなく、安倍氏の「国葬」も法令上の根拠がありません。多くの国民が反対し、法的にもあいまいな安倍氏の「国葬」は中止すべきです。さらに、安倍氏に対してどう思うか、その死に対してどのような態度を示すかは、一人ひとりの内心の自由にかかわる問題です。すでに半旗掲揚の要請など、事実上弔意を強制するようなことが報道されています。安倍氏への弔意の押し付けは許されません。

みなさん、さらに重大なのは、統一協会・勝共連合という反社会的勢力と自民党政治の癒着が、日本国憲法下の政治に重大な影響を与えたのではないかという疑惑であり、その中で安倍元首相が果たした役割です。統一協会の開祖・文鮮明は、政教一致の世界秩序をめざし、その中心は文鮮明と韓国であると位置づけています。文鮮明が理想とする国家をつくるための資金集めを担ったのが、日本の統一協会(世界平和統一家庭連合)であり、日本の信者を、マインドコントロールで違法な霊感商法や高額献金に駆り立ててきました。その被害は現在でも続いており1987年から2021年までの霊感商法の被害総額は約1237億円にのぼることが、全国霊感商法対策弁護士連絡会により明らかにされました。統一協会は正当な宗教団体ではなく、反社会的カルト集団です。自民党政治が、統一協会による霊感商法の被害者を救済せず、事実上放置してきたことも重大です。

さらに、統一協会と一体の反共・反動の政治団体である勝共連合は、自民党の右翼的潮流と結びついて、政治の反動化を進める先兵の役割を果たしてきました。勝共連合が1980年代に総力をあげて取り組んだのが、85年に自民党から提出された「国家秘密法案Ⅱスパイ防止法」の制定です。国民世論の高まりと、国会論戦の末、廃案に追い込まれましたが、廃案後も勝共連合は現代版「治安維持法」の制定を訴え続けています。

みなさん。勝共連合は、改憲運動も、自民党と歩調を合わせて強力におし進めています。勝共連合が改憲の優先課題として掲げる①緊急事態条項の創設②家族条項の創設③9条への自衛隊の明記―は、いずれも自民党の改憲案とまったく同じ内容です。自民党と統一協会はジェンダー平等反対でも、共闘、関係にあり、自らの主義・主張に不都合なジェンダー平等社会にさせないという一致点でもまさに結託しているのです。

みなさん。日本共産党は、自民党政治と統一協会・勝共連合との癒着を徹底究明に力をつくし、国による統一協会被害者の救済をつよく求めていきます。自民党と統一協会・勝共連合のような団体との癒着に重要な役割を果たした安倍氏を国葬とすることは、評価の分かれる安倍政治を礼賛し、批判を封じ込めるものになる危険があり、日本共産党はつよく反対します。

最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購入いただきますよう最後にお願いたしました。この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。(了)